

1 秋の爽り



猿田彦神がまつられている興玉神社に向かう道沿いに、たわわに実をつけた柿の木が佇んでいる。

2 琴の調べ(村庄屋跡)



明治時代に大阪から運ばれてきた琴。その音色は？(筑前木屋瀬宿場まつり開催時のみ公開)

3 古民家カフェ(のーていす)



格子戸からもれる柔らかな光に癒されながらお食事はいかが？

5 シンボルツリー(木屋瀬宿記念館)



宿場町木屋瀬の歴史を体感できる「みちの郷土史料館」と芝居小屋を模した「こやのせ座」がある。

6 渡し場の目印 大銀杏



道の真ん中にそびえ立つ銀杏の大木。かつては、遠賀川を渡る船の目印だった。

7 本陣門の鬼瓦(永源寺)



黒田藩の家紋である藤巴と鬼瓦。明治3年に本陣跡(現:木屋瀬宿記念館)から永源寺に移転された。

8 百年以上前のオルガン(もやいの家)

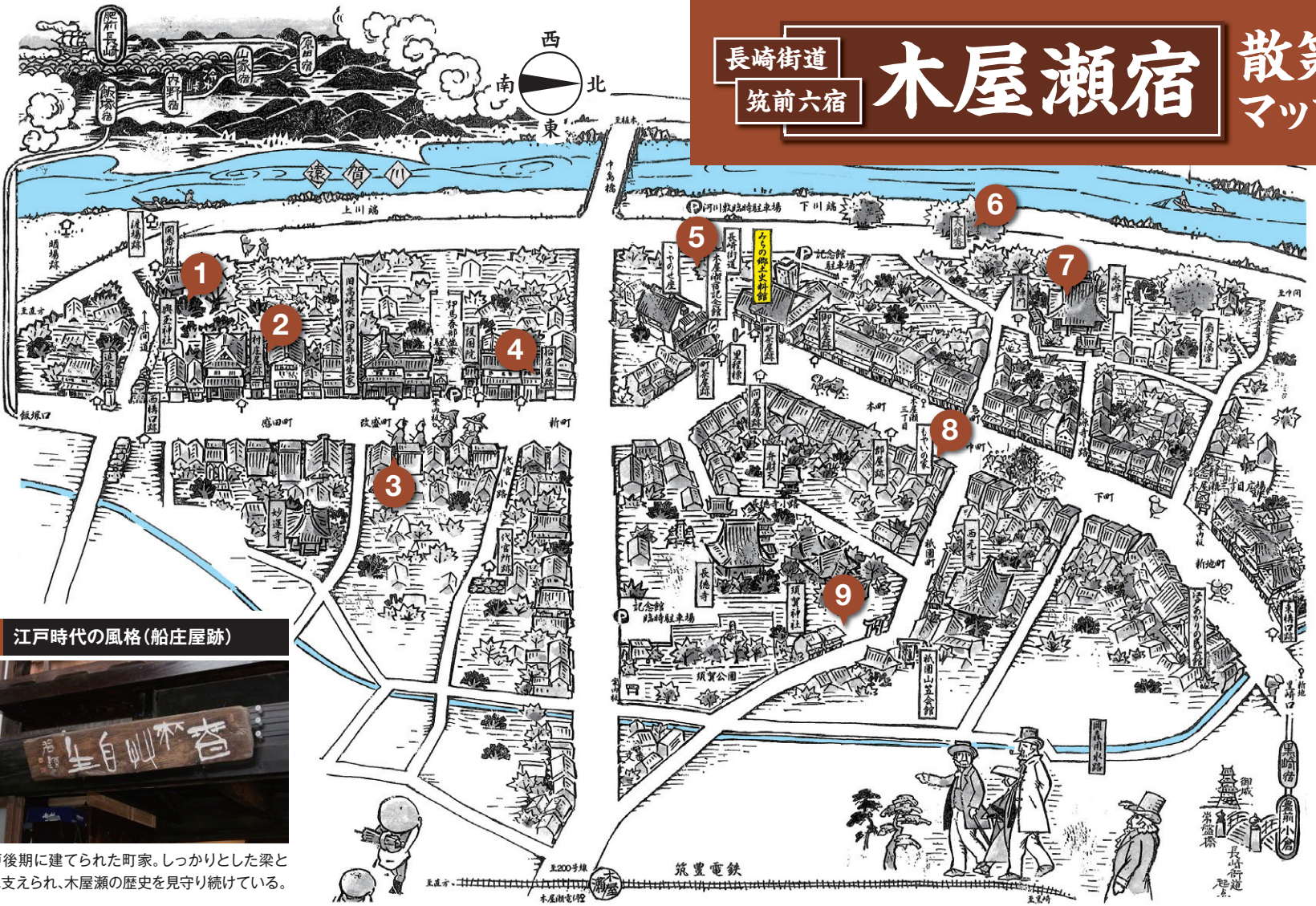


土産物屋と休憩処として人形などを展示している「もやいの家」。昔は呉服屋を営んでいた。

9 秋の風に揺れる紅葉(須賀神社)



一年を通じて四季折々の伝統行事が執り行われている神社。かつては、祇園社と称していた。



長崎街道

筑前六宿

木屋瀬宿

散策マップ